

毎日明るく あいさつ

躍進する 女性陣

第875回

飯尾運輸（飯尾栄治社長、兵庫県川西市）の小栢智子さんと久留須愛美さんの2人の目標は、「たこ焼きを焼くしながら、帰ってきたドライバーに『おかげさう』と言ってあげる」

（左から）小栢さん、飯尾社長、久留須さんとバースデーボード



飯尾運輸

小栢智子さん、久留須愛美さん

こと。同社の雰囲気明るくする2人は、事務員としてドライバーを支えている。入社

のきっかけは、小栢さんは「子どもが手を離れて時間ができた時、このままだったらしているとダメ人間になってしまう

うえで大切にしているのは、「あいさつ」と「コミュニケーション」。「顧客も大切だが、ドライバーが気持ちよ

く出発してくれることや顔を見て話すことが大切。これらを心がけているとドライバーの体調の変化も気づけるし、大きな声であいさつするのは周りから見ればアホやなと思われるかもしれないが、少しでもドライバーの気持ちを明るくできたら」と小栢さんは語る。

3月に入社したばかりの久留須さんも「明るいあいさつは欠かさない。そして、少しでも早く仕事を覚えて、『久留須がいれば大丈夫』と思ってもらえるような存在になりたい」と今後の目標を語った。

ウェルカムボードや誕生日ケーキ、サンク

と悪い、家からの近きなどを考慮して当社を選んだ」とし、久留須さんは「事務で仕事を探しているときに、HPを発見し、ワーク・ライフ・バランスを重視していることやアットホームな印象が決め手になった」と語る。

2人とも働くこと。同社の雰囲気明るくする2人は、事務員としてドライバーを支えている。入社

2人は今後も、明るいあいさつとアットホームなコミュニケーションで会社とドライバーを支えていく。

（井上 翔）